



開催のご挨拶

「SPOD フォーラム2025」を開催するにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（通称：SPOD）は、高等教育の質保証を図ることを目的として、平成20年に設立されて以来、高等教育のプロフェッショナルを輩出するためのさまざまな取組を行っています。毎年の SPOD の最大のイベントである SPOD フォーラムは、教職員の能力開発のための実践的な数多くのプログラムを提供しており、参加者に学びや経験を深めていただくとともに、参加者間の相互交流の促進やネットワークづくりの機会となっています。

SPOD フォーラム2025は、徳島大学常三島キャンパスを会場に、「学生が安心して学びに向き合う大学の基盤づくり」を全体テーマに掲げ、40 の個別プログラムをご用意しました。このうち、2日目のシンポジウムでは、「学生が安心して学びに向き合う大学の基盤づくり」のテーマのもと、3名のシンポジストらと議論を行います。さらに、テーマに関連する 6 つのプログラムを体系的に配置し、集中して学ぶことができるプログラム帯「学生理解・学生支援ゾーン」を設置しました。誰もが安心して学びに向き合うことができる大学をつくるために、教育や学生支援の実践を含め、大学としての基盤を作るために必要なことを皆様と一緒に考える機会になれば幸いです。

また、SPOD フォーラムは、プログラムの受講に加え、参加者同士の情報交換も活発であり、FD・SD の実践や開発に関わる教職員同士の学びのコミュニティとしての機能も果たしています。そこで、SPOD フォーラム2025では、新たに「参加者企画枠」を設置し、高等教育機関における FD・SD の実践をベースに実践知の共有や議論を行うことができる企画を募集いたしました。1日目の午前中は、応募いただいた企画の中から5つのプログラムを実施いたします。

2年ぶりのフォーラム開催で、情報交換会（2日目シンポジウム終了後）も開催いたします（その中では徳島ならではの企画行事も準備させていただいております）。徳島大学教職員、SPOD事務局、および講師一同楽しみにしています。本フォーラムが、それぞれの大学での教育改革の促進につながっていただけることを心より願っております。

SPOD フォーラム2025実施責任者
（徳島大学高等教育研究センター教育改革推進部門長）
吉 田 博